

いつも一緒 富士のペットたち

一緒に暮らしているペットが突然、食べ物を吐き出して、びっくりしたことはありませんか。

嘔吐には、命に関わる危険なものもあれば、それほど心配がないものもあります。今回は、その見分け方を中心にお話ししたいと思います。



山田 武文

やまむる動物病院院長
(富士市中川原)

犬と猫の嘔吐

子犬に多いのですが、朝方などの空腹時に黄色い液を一度だけ吐き、その後はケロッとして元気に食事をしていることがあります。これは胃酸の出すぎが原因で、心配のない場合がほとんどです。車に乗った時の乗り物酔いも、たいていは降りればうへすれば収まります。

散歩中、犬が草を食べて嘔吐するのを見たことがある人もいらっしゃるでしょう。この行動は、草を食べることで胃に刺激を与え、胃の中の未消化物や胃液を吐き出してスッキリするために行っています。ただし、体調不良やストレスのせいで食べることが多いと感じた時は、一度診察を受けてください。

異物で腸閉塞

食欲があるのに、食べた物や飲んだ物を何度も吐いてしまうときは要注意です。消化できない布、ゴム、ビニール、プラスチックなどを飲み込み、腸閉塞を起こしている可能性があります。好奇心旺盛な子犬に多いの内視鏡による診断もできます。

肺炎・腫瘍の可能性も

で、これらの物は近くに置かないようにしましょう。

食欲がない状態でも嘔吐をしている場合も、注意が必要です。腎不全、肺炎、胃捻転、拾い食いによる中毒などが起きている、病院ですぐに集中治療や手術をしないと手遅れになってしまうケースもあります。

嘔吐だけでなく、慢性的な軟便

や下痢を伴うときは、何らかの消化器の病気が疑われます。犬の場合は、アレルギー性腸炎やリンパ腫などが比較的多いようです。吐いたものに血が混じっているときは、胃潰瘍や腫瘍が起きていると疑われます。レントゲン造影検査や内視鏡による診断もできます。

むだ毛取り除く

毛玉を定期的に吐き出すのは自然なことなので、それほど心配はいりません。しかし、まれに大きな毛玉が胃の中で詰まると大きくなり、食欲不振や、だるさなど長期間続く嘔吐を引き起こすことがあります。こうなる

と、手術で取り出すしかありません。

猫は、ひらひら動くひも状の物が大好きです。ガジガジとかじっているうちに端から飲み込み、腸に挟まって腸閉塞になることもあります。そのつたおもちやはずえなにか、遊び終わったら必ず片付けをようこしまし。

子猫で用心しなければならぬ



嘔吐で失われた体液を補充するには、皮下点滴が効果的

趣味 し ゃ

2012(平成24)年10月4日
北日本新聞

「いつも一緒 富士のペットたち」は、毎月第一木曜日に掲載します。

嘔吐したら、様子を冷静に観察しましょう。そして、すぐに診察を受ける方がいいのか、かかりつけの動物病院に電話などで相談ください。

嘔吐したら、様子を冷静に観察しましょう。そして、すぐに診察を受ける方がいいのか、かかりつけの動物病院に電話などで相談ください。